



ZOOMERメーター&ステーキット 取扱説明書

商品番号	: 09 - 01 - 0280	White & Black type Speed Meter
	: 09 - 01 - 0281	Black & Green type Speed Meter
	: 09 - 01 - 0284	LED type Speed Meter
	: 09 01 0056	LCD Speed & Tacho Meter
適応車種	: ZOOMER	
フレーム番号	: AF58-1000001 ~	

- ・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

09 01 0280

ホワイトメーターパネルを使用したスモールサイズで、オドメーター付の140 km/h表示。

09 01 0281

ブラックメーターパネルを使用したスピードメーターで、オドメーター、トリップメーター付の160 km/h表示。

09 01 0284

バックライトにブルーLEDを使用したスピードメーターです。オドメーター付で140 km/h表示。

09 01 0056

液晶デジタル表示、ブルーLEDバックライトなどでメーター周りの雰囲気が一新します。スピードメーター、タコメーター、オドメーター機能を1つにまとめたマルチタイプ。

ご使用前に必ずお読み下さい

取り扱い説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。他社製品との同時装着はしないで下さい。部品が損傷する可能性があります。LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。

- ・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。なるべく液晶部分に直射日光があたらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等故障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
- ・本商品は完全防水ではありません。湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が侵入し画面が曇ってしまう可能性があります。曇ってしまった場合は、メーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし（配線を無理に引っ張らないよう慎重に行ってください）、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・スピードメーター変換後は、運転者に注意を促す速度警告灯の機能が無くなりますのでご注意ください。一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
(ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

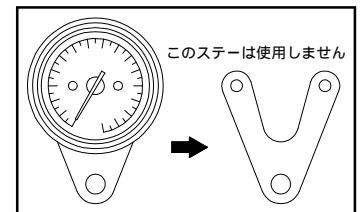
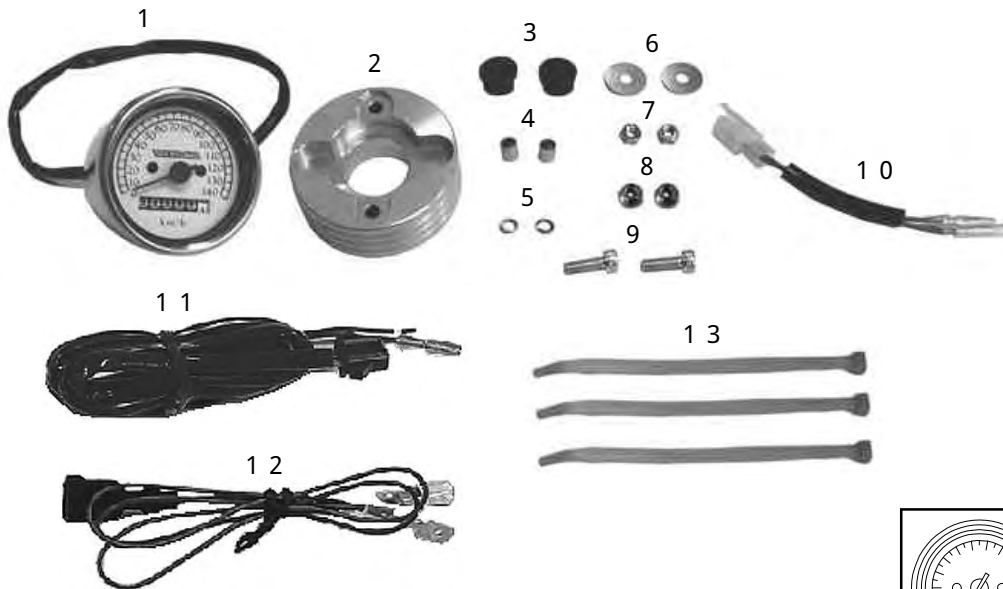
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商品内容～



番号	部品名	個数			
		09 01 0280	09 01 0281	09 01 0284	09 01 0056
1	メーターASSY.	1	1	1	1
2	メーターステー	1	1	1	1
3	クッションラバー	2	2	2	2
4	カラー 8.5 mm	2	2	2	2
5	スプリングワッシャ 5 mm	2	2	2	
6	プレーンワッシャ 5 x 18	2	2	2	2
7	六角ナット 5 mm	2	2	2	
8	六角フランジナット 5 mm				2
9	ソケットキャップスクリュー 5 x 16	2	2	2	2
10	サブコード	1	1	1	1
11	電源用コード				1
12	パルス入力コード				1
13	タイラップ 100 mm				3

5, 7, 8 はそれぞれのメーターに付属している物を使用します。

～取 り 付 け 要 領～

1. フロントインナーカバーを固定してあるスクリー4本を緩め、爪2箇所をフロントカバーから外し、フロントインナーカバーを取り外します。



2. ウィンカー及びヘッドライトのコードを固定してあるフロントカバー付属のワイヤバンドを外し、ウィンカーコネクタとヘッドライトカプラの接続を外します。



3. ヘッドライトブラケット固定ボルト3本と、フロントカバー固定スクリー2本を外し、ヘッドライトブラケット及びフロントカバーを取り外します。



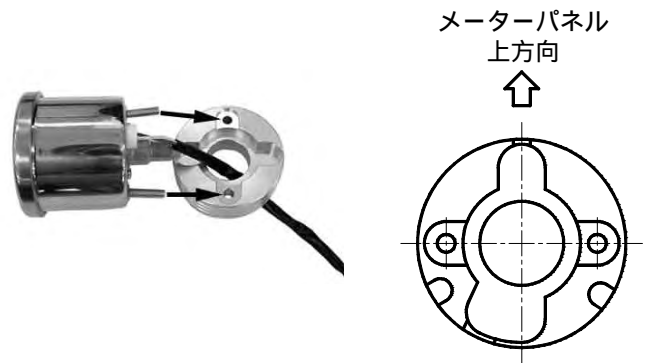
4. メーターの3P白カプラ及び黒色コードの接続を外し、メーターケーブルをメーターから外します。



5. メーターコードを固定してあるワイヤバンドを緩め、メーターマウントナット2個を外し、メーターをハンドルから取り外します。



6. メーターステー上側の中央穴よりメーターASSY.のコードを通し、メーター取り付けボルトを2箇所の穴に通します。
注意：メーターステーの方向に注意して下さい。



- 7 a. 09 01 0280・0281・0284

メーターステー裏側よりメーター取り付けボルトにスプリングワッシャ、6角ナットの順でソケットレンチにて締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

6角ナット 5mm $T = 5\text{N}\cdot\text{m} (0.5\text{kgf}\cdot\text{m})$



- 7 b. 09 01 0056

メーターステー裏側よりメーター取り付けボルトに6角フランジナットをソケットレンチにて締め付けて下さい。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

6角フランジナット 5mm

$T = 5\text{N}\cdot\text{m} (0.5\text{kgf}\cdot\text{m})$

8. ハンドルのメーターステーからラバーを取り外し、クッションラバーを取り付け、クッションラバーにカラーを差し込みます。



9. スピードメーターケーブルをメーターに接続します。



10. ハンドルのメータステーに(7)で組み立てたスピードメーターCOMP.を載せ、ソケットキャップスクリュー、ブレンワッシャの順で締め付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

ソケットキャップスクリュー 5×16

T = 4 N・m (0.4 kgf・m)



11 a. 09-01-0280

メーターASSY.のコードをサブコードに接続し、サブコードの3Pカブラを車体側メーター照明コードの3Pカブラに接続して下さい。

メーターASSY.の(-)電流は、スピードメーターケーブルより供給されますので、サブコードの緑は使用しません。

メーターASSY.	サブコード
茶	(+)茶
ボディーアース (メーターケーブル)	(-)緑

11 b. 09-01-0281

メーターASSY.のコードをサブコードに接続し、サブコードの3Pカブラを車体側メーター照明コードの3Pカブラに接続して下さい。

メーターASSY.	サブコード
茶	(+)茶
緑	(-)緑

11 c. 09-01-0284

メーターASSY.のコードをサブコードに接続し、サブコードの3Pカブラを車体側メーター照明コードの3Pカブラに接続して下さい。

メーターASSY.	サブコード
黒	(+)茶
緑	(-)緑

11 d. 09-01-0056

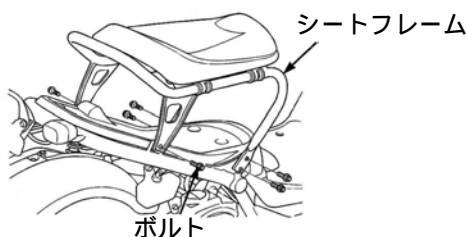
メーターASSY.のコードの黒カブラと電源用コードの黒カブラを接続し、電源用コードの赤及び黒コードとサブコードの茶及び緑コードと接続して下さい。

サブコードの白3Pカブラを車体側メーター照明用コードの3Pカブラに接続して下さい。

電源用コード	サブコード
赤	(+)茶
黒	(-)緑

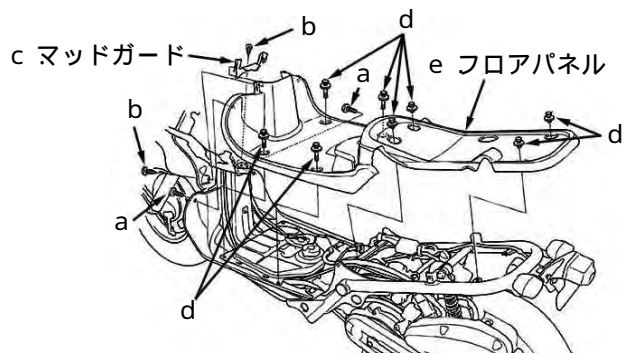
12. 09 01 0056

シートフレーム固定ボルト6本を外し、シートフレームを車体より外して下さい。



13. 09 01 0056

a~eの順に、マッドガード及びフロアパネルを取り外して下さい。



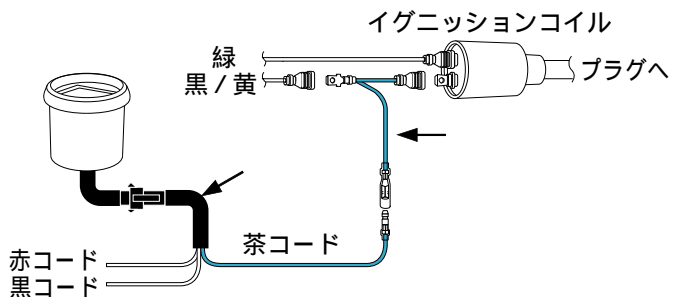
14. 09 01 0056

イグニッションコイルの黒/黄コードを外し、パルス入力コードをその間に入れ接続して下さい。

パルス入力コードの丸メスギボシ側をフレームを沿わせながらメーター付近まで取りまわし、電源用コードの茶コードと接続して下さい。

フレームを沿わせたコードは、緩まないようにタイラップにて2ヶ所固定し、余ったコードをタイラップにてフロントカバー内で束ね、固定して下さい。

余ったタイラップ先端部は、ニッパー等で切断して下さい。



15. エンジンを始動し、メーターの照明が点灯するか確認して下さい。正常に点灯しない場合は、バルブ切れやコードの接続不良等が考えられますので再度確認をして下さい。

△警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動して下さい。

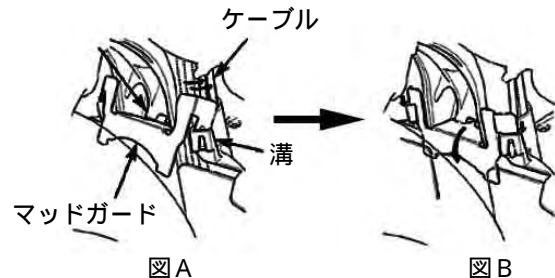
16. 外装品を取り外した手順の逆手順で取り付けして下さい。

なお、マッドガードは下記手順にて取り付けして下さい。

(図A、B参照)

A. ケーブル2本を車体後方へずらしながら、マッドガードの両端の爪部をフロアパネルの溝にはめ込み、中央部をフレームのボスの下にセットして下さい。

B. マッドガードの両端爪部の凸部分、フロアパネルの溝部にきちんとはまり込む様取り付けして下さい。



株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL http://www.takegawa.co.jp

ラージLCDメーターαのタコメーター設定について

本ページは各種キット共通内容となっております。
お客様のバイクに合わせた値にメーター設定値を切り替えて下さい。

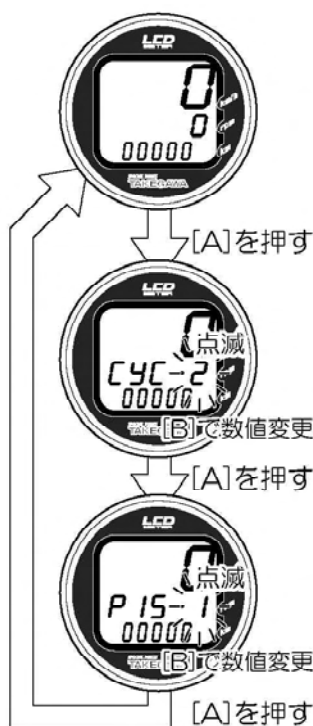
車名	商品番号	CYC-	PIS-
マグナ50	09-01-0211	2	1
スーマー (キャブレター車)	06-02-0202/09-01-0056	2	1
TODAY (キャブレター車)	06-02-0303	2	1
AF62 ディオ	06-02-0301	2	1
スパイシー100	06-02-0305	2	1
ディオ (2サイクル)	06-02-0302	2	1
JOG (2サイクル)	06-02-0304	2	1
XR50/100モタード	09-01-0288	2	1
XR250モタード	09-01-0055	2	1
KSR110	09-01-0054	2	1
KSR50/80	09-01-0054	2	2

タコメーターの設定変更手順



B 数値変更ボタン(文章中[B]ボタン)
A 設定項目切り替えボタン(文章中[A]ボタン)

車両のメインキーをON(車輛によってはエンジンを始動)にし、メーターの電源が入った状態(液晶表示がある)にしてください。



[A]のボタンを押します。
画面に「CYC-」という表示が出ます。
この時、[B]のボタンを押す度に「CYC-2」⇄「CYC-4」と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択してください。
「CYC-」の選択が完了しましたらもう一度[A]ボタンを押してください。

画面に「PIS-」という表示が出ます。
この時[B]のボタンを押す度に「PIS-」の右側の数表示が変わります。
上記で「CYC-2」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒・・・となります。
また「CYC-4」を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒1・・・となります。
ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

すべての設定が完了し、[A]ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に戻ります。

エンジン種類[CYC-]、気筒数[PIS-]について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転回りの発火回数を表すための例えです。
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回
CYC-2 (2サイクルエンジンの例え)		PIS-1		PIS-2		PIS-3	PIS-4
CYC-4 (4サイクルエンジンの例え)	PIS-1	PIS-2	PIS-3	PIS-4	PIS-5	PIS-6	PIS-8 (PIS-は気筒数の例え)

●ご自分のバイクの発火回数分からない時
エンジン種類は[CYC-2]固定で、まず気筒数を[PIS-4]に設定し、エンジンを軽く回して表示数値を確認してください。
気筒数[PIS-4]では大抵実際よりも少なく表示されますので、様子を見ながら PIS-3 → PIS-2 → PIS-1 と数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイブ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[CYC-2、PIS-1]となります。
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火[CYC-2、PIS-2]の場合があります。